



すまいる新聞

第91号(11月号)
平成23年11月1日発行

◇もくじ◇

秋を満喫	1P
ときめけ!輝け!みんなの心と笑顔	2P
大きなサツマイモが次々と...	2P
ドキドキ、ハラハラのクイズタイム!	3P
総合学習 ~車椅子体験~	3P
編集後記	4P

秋を満喫



秋の花といえば、その名の通り、コスモス。あの色とりどりの花を見ると、今年もこの季節が来たなと感じます。きれいなコスモス畑を目指して、グリーンパークへいざ出発~!

当日は、コスモス祭りの前日。花も見頃、人も少なくゆっくり楽しめそう!と、考えていましたが...鮮やかな花々に喜びつつも、近づいてみると「あれ!?思ったよりも咲いていない!?!」コスモス畑をバックに、皆で写真を撮れば、草原をバックにしているよう

にも見えます(笑)。

ですが、今回のお出掛けは、実は大成功でした。秋晴れの青空の下、芝生を踏む感触や水のせせらぎが心地よく、開放的な気分。それぞれが、色々な楽しみを見つけていました。

大好きなお友達と一緒に、ご機嫌な清野大介さん。大きな池のほとりでパークを一望できるベンチに座り、時間を忘れてのんびり。特等席で、贅沢なひと時でした。大金百さんは、歩くごとに、コスモスの花をそっと手に取り、ほのかな香りを楽しんだり、頬をくすぐるような花びらの感触を楽しんでいました。動物好きの人見真由さんは、お散歩中のミニチュアダックスフンドやヨークシャテリア、池を泳ぐアヒルやガチョウに、目を輝かせていました。



「楽しかったね!また来ようね!」
by 大金百さん

そういえば、こんな一コマも♪陸から池に向かってお尻をフリフリ走るアヒルたち。「おーい」と元気に呼びつつ、アヒルを追う百さん。「待って~!」と百さんの後ろを追いかける職員。その後ろで、追いかけるこのような光景に思わず吹き出す真由さん。なんだか一つ一つが新鮮で、楽しかったですね。

また、皆で遊びに行きましょうね。もちろん、コスモスのリベンジも!(笑)

高根沢町障害児者生活支援センターすまいる

「ときめけ! 輝け! みんなの心と笑顔」～love&peace～



のざわ特別支援学校「のざわ祭(交流学习発表会・作品展)」に行ってきました。

小学部1年生の鈴木琴絵さんは、初めての学習発表会で緊張気味でした。けれど、「ゆめたまごくらぶ」として出演した演技・発表では、練習の成果を発揮しようとする、一所懸命な頑張り伝わってきて、感動しました。夢が叶って、たまごから登場したプリキュア姿の琴絵さんは、とても可愛かったですよ!!

小学部4年生の加藤芽生さんは、5年生や6年生の上級生の中でも、堂々とした演技でした。体育館の後ろの方まで台詞が届き、1つ1つの演技も大きく分かりやすいものでした。「もし時間がありましたら、見に来て下さい」と職員に、のざわ祭のことを教えてくれた時も丁寧で、もう立派なお姉さんですね。

中学部2年生の鈴木弘之さんは、自分達で作ったエコバックを販売することが楽しみにしていた為か、笑顔一杯で開店準備をしていました。弘之さんは、「1つ500円です」とトーキングエイドを用いて教えてくれたり、買った際には「ありがとうございます」と、見事な接客で応じてくれました。



高等部2年生の永井千春さんは、展示販売会のことを聞くと、場所や販売するものなど詳しく丁寧に教えてくれました。今回は残念ながら千春さんの作品は、短時間の内に商品が完売して購入出来なかったのですが、「申し訳ありません。来年、またお越し下さい。」と気持ちを込めて対応してくれました。



大きなサツマイモが次々と・・・実りの秋です。

今日は、待ちに待ったサツマイモを収穫する日です。子ども達は、お家を出る時から「大きいサツマイモを取るんだ。」と、とても張り切っていた様です。職員にも、軍手・長靴・帽子と準備は万全だよと教えてくれます。

ゆめ事務所に到着するやいなや、サツマイモ畑の方へ気持ちが向きます。子ども達が掘り出す、あちらこちらで、大きなサツマイモが沢山取れて、「いえ〜い」「大きいのがあったよ」「ほら、ほら、ほら」と嬉しい歓声が飛び交います。気が付くと、用意したカゴには入りきれない位、大量のサツマイモを収穫することが出来ました。

そして、お待ちかねのおやつ時間で、アツアツ、ホカホカの焼き芋に、「あっちい」と言いながらも、みんな笑顔。あるお友達はお代わりもして(夕食は大丈夫だったのかなあ!?)、大満足で食べられました。来年は、今日より沢山のお友達と収穫の喜びを味わいたいです。



ドキドキ、ハラハラのクイズタイム!

「せいのだいすけさん、12さい、おめでとう」と書かれた横断幕に迎えられて誕生者の清野大介さんが登場です。横断幕で大介さん(南那須特別支援学校小学6年)の誕生会を盛り上げようとみんなで決めました。ちょっとびっくり、でも嬉しそうに誕生者席に着席すると、みんなの方を向けないくらい照れてしまっている大介さん。それでも、ハッピーバースデーの歌をみんなが歌っているのをにこやかに聞いていました。インタビューコーナーで、好きな食べ物は何?の質問に少し考えて、「・・・うどん」。食べ物以外にも、お世話になっているボランティア



さん、児童館の先生、そして勿論すまいるの友だちと大介さんの好きなものはたくさんあります。ゲームは、大介さんについての2択問題です。大介さんが学校に行く時に乗っているのは、バイク、それともバス?。さあ、どっちでしょうか。問題を聞いたみんなが移動します。シンキングタイム終了。答えに自信あり、でもちょっとドキドキです。大介さんが答えを発表します。「バス」。「やったー」。正解したみんなから歓声があがります。正解をみんなに伝える時も6年生らしく堂々としていました。

身長も一段と伸び、成長されている大介さんが一層大きく見えました。

総合学習 ～車椅子体験～

「誰もが明るく安心して暮らせる町」当たり前ですが、素敵ですよ。障害を持っているからという理由で、一線を引かれてしまうのは残念なことです。徐々に理解者が増えてきている一方で、まだ大きな課題でもあります。すまいるでは、障害理解促進のための活動を行っています。

先日、高根沢北小学校の3年生を対象に、高根沢町社会福祉協議会とすまいるが合同で、総合学習を行いました。内容は、高齢者体験・視覚障害者(アイマスク)体験・車椅子体験です。ここでは、車椅子体験の様子についてお伝えしたいと思います。まず、車椅子についての説明の後、子ども達が実際に車椅子をこいだり、押ししたりしました。ポールの間をジグザグに進めず何度もバックしたり、ぶつかったり。普段は段差と感じない高さ3~4cmのマットも自分で越えることが出来ません。介助する人も、かなり苦労したようです。このような体験から、車椅子に乗っている方や介助をしている方の気持ちなど、子ども達は自ら感じ、学んでいったようです。

さて、車椅子を押してもらっている人(乗っている人)を見てみると、ぎゅっと腕置きのパールを握ったり、ハラハラしている人が多い中、ゆったりとした介助に安心して身を任せているペアに目が行きました。私は近づき、「上手だね。」と、車椅子を押している女の子に声をかけてみました。すると、「おばあちゃんの車椅子、押してるから。」と。特別なことではない、とうような柔らかな口調でサラリと。障害を持った方と接すること・同じ地域で暮らすことはごく自然なこと。そして、そう自然に思えることが大切なことなのだと、改めて感じました。

すまいる掲示板

<10月の主な活動>

- 4日 高根沢町介護・障害程度区分認定審査会
 4日 フリースペース会議
 4・11・18・25日 フリースペースゆめ
 5日 研修検討部会、たかねみらいプロジェクト
 6日 さくら市子育て支援事業
 7・14・21・28日 フリースペースゆめ(チャレンジ・ステップコース)
 11日 高根沢町介護・障害程度区分認定審査会
 12日 塩谷地区障害者相談支援専門員連絡会
 13日 りんごグループ教室、フリースペース那須
 18日 さくら市子育て支援事業、地域ケア会議
 20日 さくら市障害程度区分認定審査
 25日 高根沢町介護・障害程度区分認定審査会
 矢板市豊田小学校総合学習(講師派遣)
 29日 ふれあい熱気球説明会(講師派遣)

<11月の主な活動予定>

- 1日 高根沢町介護・障害程度区分認定審査会
 フリースペース会議
 1・8・15・22・29日 フリースペースゆめ
 4・11・18・25日 フリースペースゆめ(チャレンジ・ステップコース)
 5日 ふれあい熱気球
 9日 塩谷地区障害者相談支援専門員連絡会
 10日 フリースペース那須、研修検討部会
 15日 地域ケア会議、さくら市子育て支援事業
 17日 フリースペース那須、りんごグループ教室
 19日 きのこまつり
 21日 さくら市障害程度区分認定審査会
 22日 高根沢町介護・障害程度区分認定審査会
 28-30日 相談支援専門員現任研修

10月「すまいる」利用状況

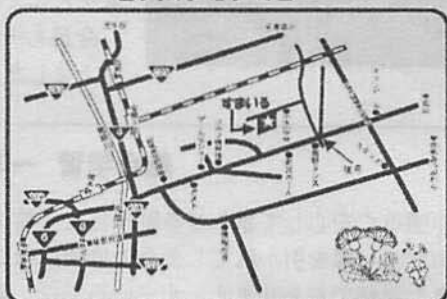
<就学児デイサービス事業>合計91人
 阿久津小8人、のぞわ17人、南那須63人
 宇大附属3人

インフォメーション

不登校・引きこもり個別相談会

不登校・引きこもりは百人百様です。個性を大事にし、その子らしい人生を歩くことが出来るように応援する。そんな一歩となるような個別相談会を下記の通り開催致します。<日時>12月21日(水)10時~16時<場所>矢板健康福祉センター2階<参加費>無料<相談時間>1家族1当事者60分<担当相談員>ユースアドバイザー、認定カウンセラー、当会認定訪問サポート士、ひきこもり支援相談士、他<連絡先>TEL090-1846-4004(齊藤)※相談ご希望の方は、時間調整の為、予めお名前・時間等ご連絡下さい。<協力機関>矢板健康福祉センター<主催>特定非営利活動法人 KHJとちぎベリー会

【案内図】



高根沢町障害児者生活支援センターすまいる

塩谷郡高根沢町石末2247-2

TEL028-675-2163 FAX028-675-2274

E-mail t-kinoko@bird.ocn.ne.jp(問合せはこちらへ...)

【編集後記】11月を迎えて、紅葉が美しい季節になりました。木の葉が枯れる前の、赤みがかった葉を、京都の紅葉狩りを例として私達が楽しむことが出来るのは、人間独特の感性によるものと思われれます。その感性は、日々の好奇心から培われていくものではないでしょうか?日々、暗いニュースが多いですが、人生を楽しむ秘訣として色々な事に好奇心を抱く事と言われています。今月は、各地で様々な催しものが開催される様なので、足を運んで日常にない経験をしてみてはいかがでしょうか?(人)